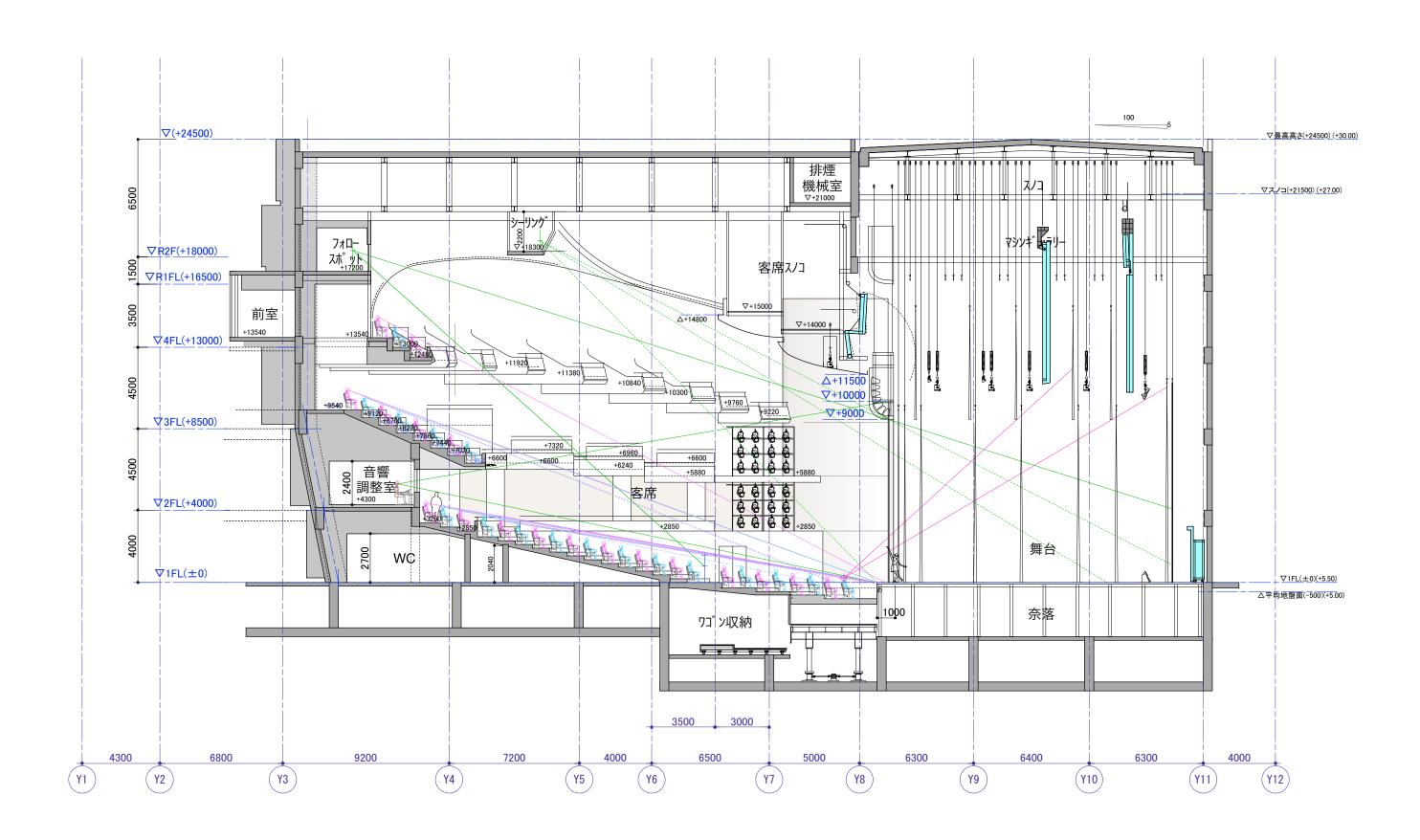


大ホール 平面図検討案 縮尺 1:400 合計:1317席 DS 備品庫 大ホール舞台 ピアノ庫 2階平面図 (1階客席831席) 1階平面図 **全** 客席上部 吹抜 **Z** 3階平面図 (2階客席339席) 4階平面図 (3階客席147席)

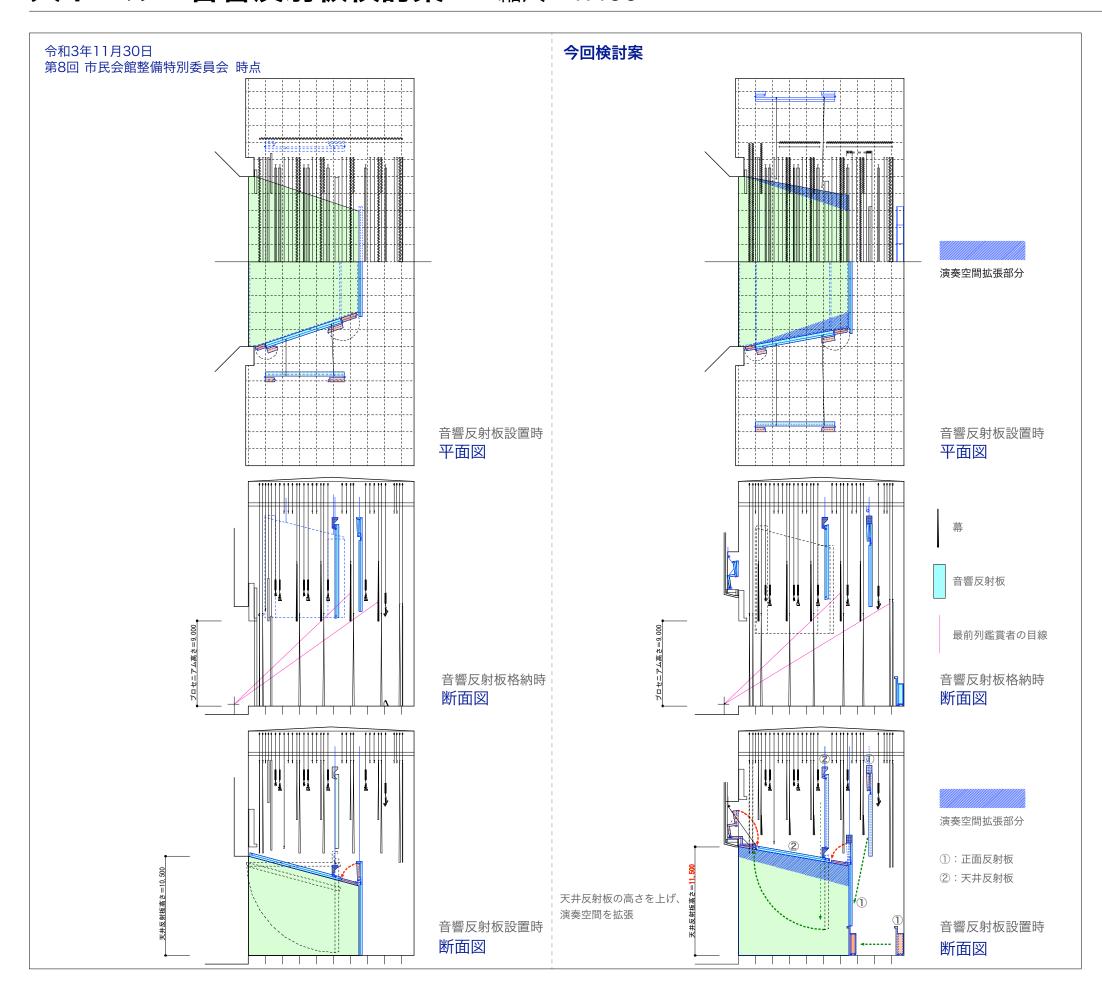
※本検討図は検討中の図面であり、決定しているものではありません。

大ホール 断面図検討案 縮尺 1:200



令和4年3月18日 第11回 市民会館整備特別委員会 資料2 産業文化部 文化課

大ホール 音響反射板検討案 縮尺 1:400



令和3年11月30日 第8回 市民会館整備特別委員会 時点

○音響反射板分割格納方式

天井音響反射板、側面音響反射板、正面音響反射板を分割し、 それぞれ舞台上空に格納する方式で検討

課題1:

プロセニアム高さを9m (30尺) で構成した場合、観客の視線から反射板が見切れる

課題2:

音響反射板セット時の演奏空間ボリュームが小さい

今回検討案

課題1 改善案:反射板格納時の見切れ解消

- ・正面反射板下部に自立の走行式反射板を設け、舞台上部に格納 する反射板高さを短くする。
- ・プロセニアムに天井反射板前方を回転式で格納し、舞台上部に 格納する天井反射板高さを短くする。

課題2 改善案:反射板設置時の演奏空間拡張

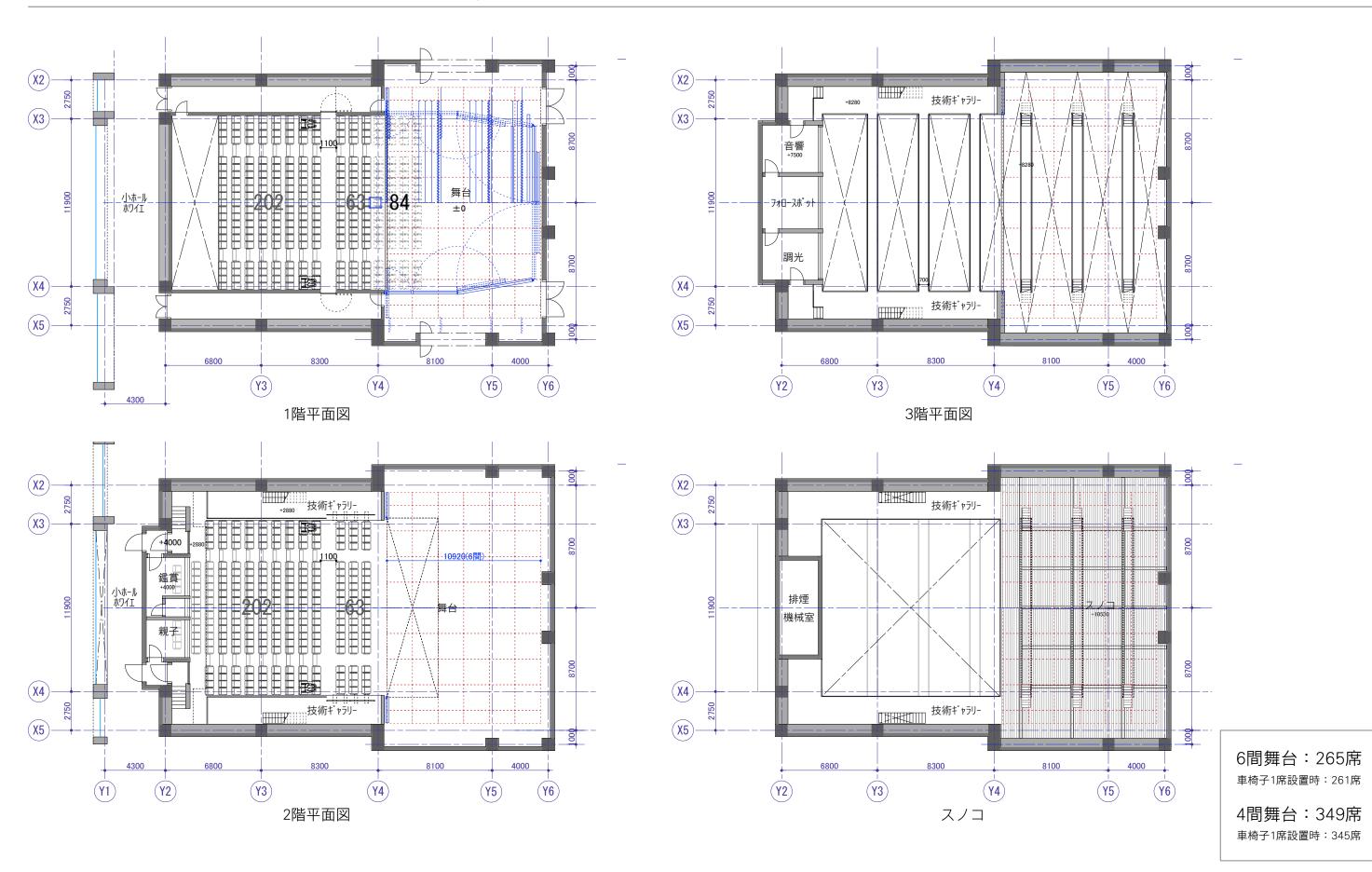
(天井反射板高さをより高くする方法)

- ・側面反射板高さを長くする。その際、前回検討時の格納位置では反射板下の舞台袖有効高さが低くなってしまうため、舞台側壁に寄せて格納し、舞台袖空間の有効高さを確保する。 (反射板の平面サイズを大きくする方法)
- ・側面反射板のセット角度をゆるく設定する 。

※本配置検討図は検討中の図面であり、 配置等が決定しているものではありません。

小ホール 平面図検討案

縮尺 1/250



令和4年3月18日 第11回 市民会館整備特別委員会 資料2 産業文化部 文化課

